

育児休業に関する体験記 9

30代 30日間取得

①家事・育児について

1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか

妻には産後の体力が回復するまでは、無理のない範囲で赤ちゃんのお世話をメインにやってもらい、夫は家事育児（上の子のお世話）全般を分担するように話し合った。

2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について

私の仕事中は、妻に家事や育児をおまかせしているのので、家に帰ってからは、炊事、子どものお風呂入れ、ミルクでの授乳など妻に負担をかけないように心掛けて行動している。

（妻 記載欄）休業取得者の家事・育児の参画の状況について

家事や育児を積極的にやってくれたので負担が軽減されとても助かりました。

②仕事について

1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか

引き継ぎはほとんど必要のない部署であったため、支障は無かった。また、出産が予定日より早まる可能性があったが、会社側からの配慮でいつでも育休に入れるよう、部署の異動を行ってもらい、サポートしていただいた。

2. 評価・反省

ありがたいことに、会社の皆様に全面的にサポートしていただいたので、スムーズに育児休業に入り、気持ちよく復帰できたことに感謝しています。

③自由記述

育児休業を取得した理由は、私が家事や育児を積極的に行うことで、出産後で体力的に疲弊している妻の負担をできるだけ減らしたいと思ったからです。会社に相談すると快く承諾していただき、手続きに関することを調べてもらったり、妻が早産になるかもしれないと相談したら、いつでも育休に入れるようにと部署の異動をしてくれたり、全面的にサポートしてもらい、会社の皆様には本当に感謝しています。

そしていざ育児休業に入ってみると、想像以上に大変でした。上の子で育児は経験していたので、慣れたものだろうと思いきや、勝手を忘れていて、最初の方はバタバタとしていました。

妻が出産後で体力が戻らず、思うように動けない中で、赤ちゃんのお世話に加え、上の子からかまってかまってと言われたり、その合間を縫って、家事をしたりと、目の回るような忙しさでした。気分転換もする時間が無いので、精神的にくるものがありました。

でも大変なことばかりではなく、赤ちゃんが可愛いのはもちろん、上の子が赤ちゃんを必死にお世話しようとしている姿を見て、とても癒されました。

育児休業を終えて、育児の大変さ、家事と育児の両立の難しさを体感し、とてもいい経験になりました。また、子どもの成長を身近に感じることでできる貴重な時間でもありました。仕事が始まっても、育児家事は率先してやることは忘れず、家族みんなで成長していければと思います。